

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 20 号

第 20 週(5月 16日 ~ 5月 22日)

発行年月日:平成17年(2005年) 5月 27日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (20週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (20週)	全国 (20週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 4	217	9	576
	腸チフス	0	0	21	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	332	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	^{(*)3} 21	1	34
	オウム病	0	1	23	1	39
	デング熱	0	1	12	2	45
	マラリア	0	0	23	2	73
5類感染症	アメーバ赤痢	0	1	249	8	580
	ウイルス性肝炎	0	0	112	5	299
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	25	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	1	378	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	19	2	85
	梅毒	0	0	179	4	516
	破傷風	0	0	29	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	30	0	49
急性脳炎	0	1	^{(*)3} 93	1	164	

*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3:平成17年第18週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

2)定点把握の対象となる5類感染症

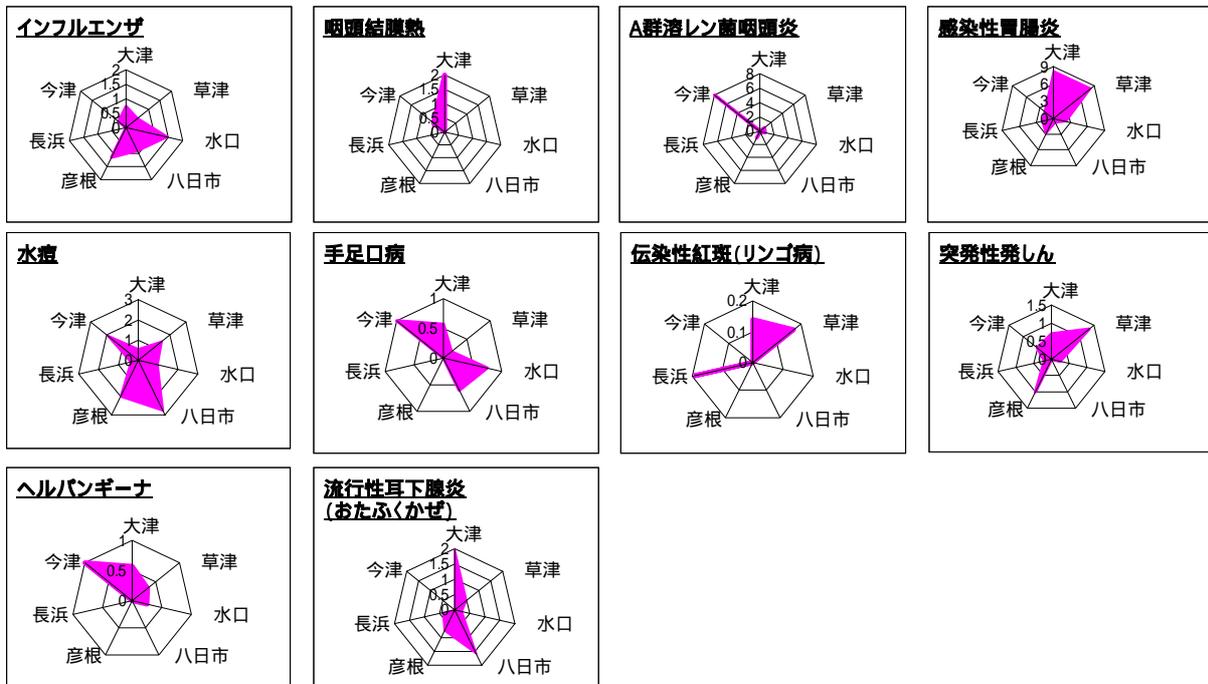
(1)疾病別・週別発生状況(第15~20週, 4/11~5/22)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	15週	16週	17週	18週	19週	20週	週				
	(4/11~)	(4/18~)	(4/25~)	(5/2~)	(5/9~)	(5/16~)	16	17	18	19	20
インフルエンザ	6.25	4.84	5.96	2.57	0.98	0.76					
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0	0					
咽頭結膜熱	0.12	0	0	0.24	0.39	0.45					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.73	0.55	0.73	0.39	0.88	0.91					
感染性胃腸炎	3.97	3.85	3.88	2.64	2.94	4.45					
水痘	1.45	1.58	1.76	1.79	2.18	1.36					
手足口病	0.06	0	0.06	0.12	0.18	0.39					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0.06	0.09	0.06	0.09					
突発性発しん	0.52	0.36	0.24	0.30	0.27	0.61					
百日咳	0	0	0	0	0.03	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0.03	0	0					
ヘルパンギーナ	0.15	0	0.15	0.09	0	0.27					
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.15	0.52	0.58	0.82	0.85	0.94					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.43	0.71	0	0.43	0.57	0					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第20週、5/16～5/22)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0.76	0.73	0.50	1.43	0.88	1.14	0	0.33
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.45	2.00	0	0	0	0	0	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.91	0.14	0.83	0.75	0.20	1.00	0	8.00
感染性胃腸炎	4.45	8.29	8.33	2.25	0.80	3.00	2.00	2.00
水痘	1.36	0.57	1.50	1.00	2.80	2.00	0.40	2.00
手足口病	0.39	0.57	0.17	0.75	0.60	0	0	1.00
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0.14	0.17	0	0	0	0.20	0
突発性発しん	0.61	0.71	1.33	0.25	0	1.00	0.20	0.50
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0.27	0.57	0.33	0.25	0	0	0	1.00
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.94	2.00	0.50	0.25	1.60	0.75	0.40	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。咽頭結膜熱は大津で、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は今津で多くなっています。また、水痘については八日市および彦根で先週よりかなり減少しているもののまだ多い状態が続いています。手足口病については彦根および長浜以外で先週より増加しており、流行性耳下腺炎の発生は大津で多くなっています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症とします。

* 感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

感染性胃腸炎の発生は急増 咽頭結膜熱および手足口病の発生は増加傾向 インフルエンザの発生は全国と同様に減少傾向

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(5月9日～5月15日)の報告数より多くなっています。今週、増加を示した疾患は咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎等です。その他の疾患では減少または横ばいとなっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

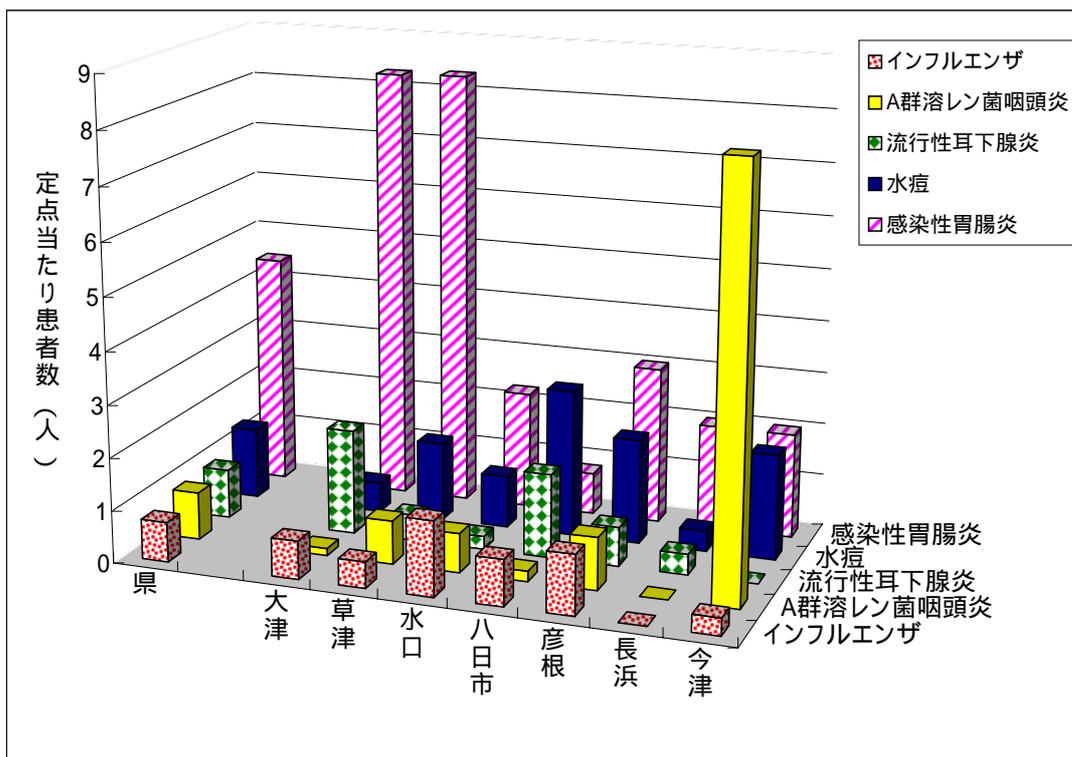
インフルエンザについては、先週の定点当たり患者数0.98よりさらに減少し0.76となっていますが、水口および彦根保健所管内における定点当たり患者数はそれぞれ1.43、1.14とやや多くなっています。

咽頭結膜熱については、先週の定点当たり患者数0.39より増加し0.45となっています。特に大津保健所管内の定点当たり患者数は2.00と先週に引き続き多くなっています。

A群溶レン菌咽頭炎については、先週の定点当たり患者数0.88よりやや増加し0.91となっています。特に、今津保健所管内においては8.00と非常に多くなっています。

感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数2.94より急増し4.45となっています。特に大津保健所管内における増加が著しく、定点当たり患者数は8.29となっています。また、草津保健所管内の定点当たり患者数は8.33と先週に引き続き多くなっていますので今後の発生動向に注意する必要があります。

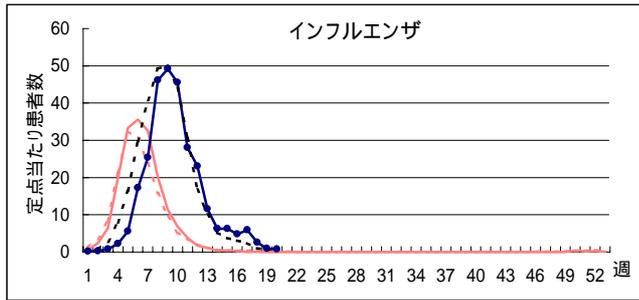
上位5疾患の保健所管内別発生状況(平成17年第20週、H17.5.16～H17.5.22)



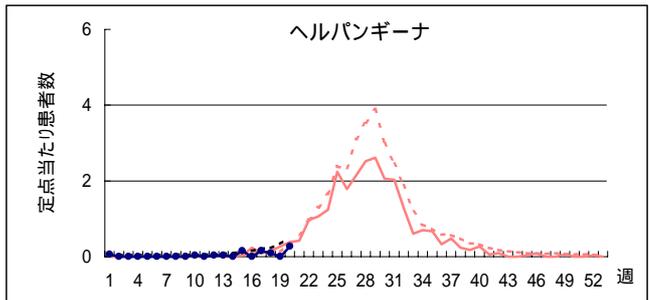
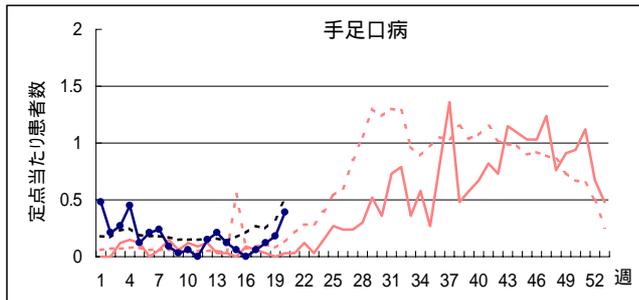
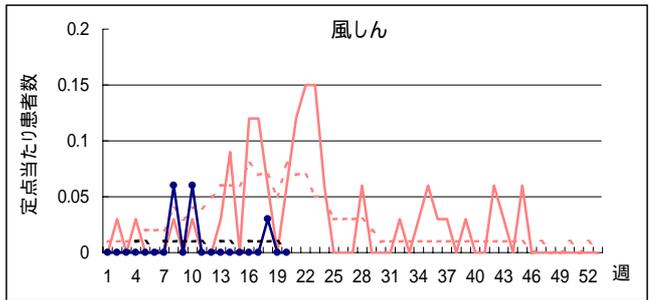
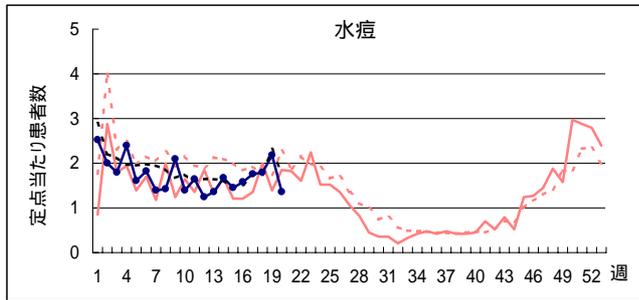
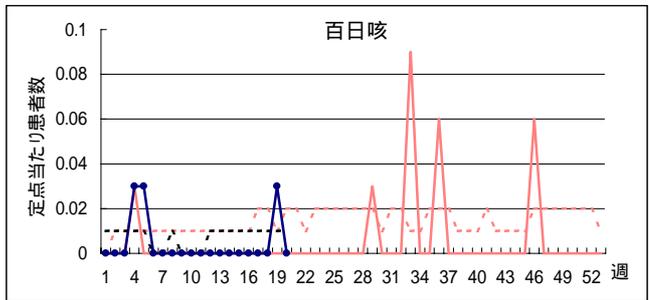
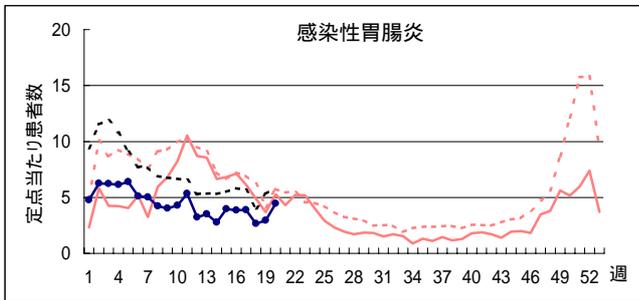
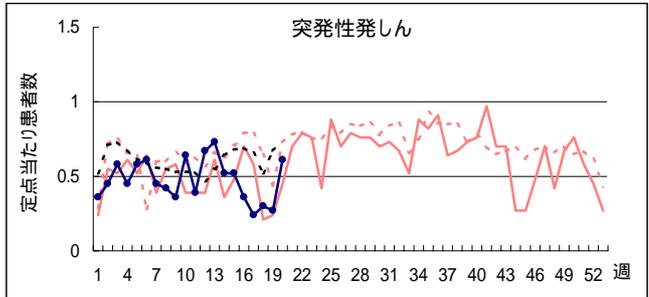
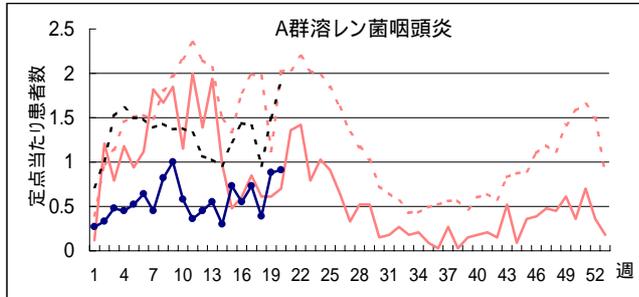
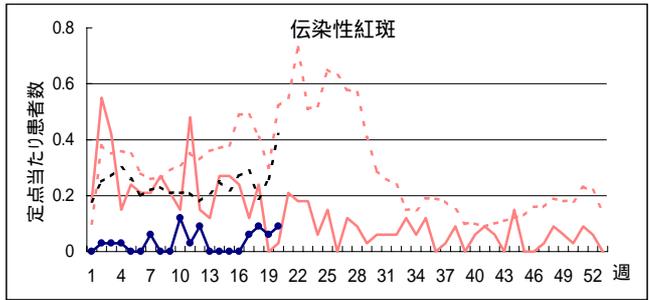
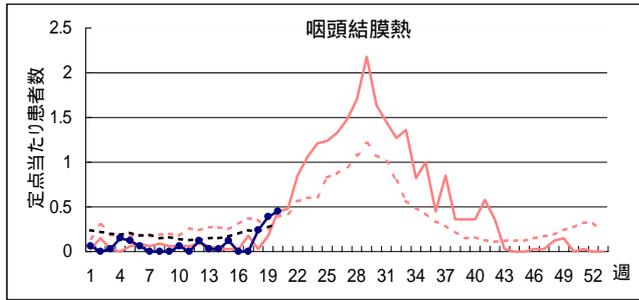
第20週における定点当たり患者数上位5疾患(感染性胃腸炎、水痘、流行性耳下腺炎、A群溶レン菌咽頭炎、インフルエンザ)の保健所管内別発生状況についてみると、感染性胃腸炎の発生は大津および草津保健所管内で多く発生しています。水痘は八日市保健所管内でやや多く、流行性耳下腺炎は大津および八日市保健所管内で多くなっています。A群溶レン菌咽頭炎については今津保健所管内で特に多くなっており、インフルエンザについては大部分の保健所管内の定点当たり患者数は1.00以下となっていますが、水口および彦根保健所管内ではそれぞれ、1.43、1.14となっています。

また、今津保健所管内におけるA群溶レン菌咽頭炎の定点当たり患者数は、平成17年第7週(2/14～2/20)以降、1.50～9.50で推移しており、他の保健所管内の定点当たり患者数(0～1.50)より非常に多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第20週、H17.1.3～H17.5.22)



H16 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H17 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第20週、H17.1.3～H17.5.22)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 〕
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 〕

